



相続みまもり家族りぼんの会

シニアからの“社会とのつながりと支え”

—超高齢化社会だからこそ生じる世代意識の差！

■それぞれの年代から見た呼び名と年齢の差

ビデオリサーチ社は、世界保健機関（WHO）が65歳以上を「高齢者」とする定義について、最近の生活者の意識とかい離しているのではないかとこの観点から調査をして、次のような結果を導きました。年代の呼称とその呼び名のイメージです。

呼び名 →	シニア	シルバー	高齢者	老人
10代から見ると	59.6才	68.8才	66.4才	70.6才
20代	61.5才	67.6才	67.9才	71.9才
30代	62.0才	67.8才	68.7才	72.4才
40代	60.7才	67.6才	68.6才	72.3才
50代	59.8才	68.0才	69.3才	72.3才
60代	60.9才	68.5才	70.4才	74.9才
70代	57.5才	66.5才	71.9才	75.4才

つまり、シニア（60歳） < シルバー（68歳） ≤ 高齢者（69歳） < 老人（73歳） というイメージです。

■調査から導かれる生活者の意識

調査結果を詳しく考察すると、どの年代の呼び名であっても、自分がその年代であることを認めたくないという欲求が見え隠れするようです。すなわち、イメージ調査で一番若い「シニア」とくられる60前後の人の半数以上は「シニア」と呼ばれることに抵抗を感じるのです。それを証明するように、年齢としては「シニア」であっても「シニア向け」「シニア用」などの直接的な訴求は、自分にふさわしくないと感じるかむしろ不快感を伴うメッセージとなってしまいます。

しかし、これはあながち意識だけの話でもないようです。…と言うのは、実際、体力的にも“高齢者”はたったの10年で身体機能が11歳若返っていたのです。（1992年の64歳の歩行スピードは2002年の75歳とほぼ同じでした。2017年の今はもっと若いですね。）

要するに主観年齢（自分自身がイメージする自分の年齢）は実年齢よりもどんどん若返っているということです。しかし、その若さはずっと続くものではないと記憶しておいて下さい（後述）。



定年退職後に働く目的の変化

[50～64歳]

- 1位 生活費や年金の補てん
- 2位 社会との接点を持つため
- 3位 好きなことをする費用のため

[65～79歳]

- 1位 社会との接点を持つため
- 2位 生活費や年金の補てん
- 3位 自分の趣味や特技を追求できる



老化を遅らせる 長寿遺伝子を 活性化させる！

長寿遺伝子をオンにするための3つの方法。①適度な運動②カロリー制限③抗酸化成分「レスベラトロール」を摂る

①運動による筋肉の収縮を指します。少し汗ばむくらいが理想的。②はパンや麺類のような炭水化物のカロリーを減らします。③はブドウの果皮、ピーナッツの薄皮、赤ワインに含まれ、抗酸化物質として知られるポリフェノールの一種です。

■シニアに限らない実際の年齢意識

60歳前後の現代シニア層は、自分自身を「まだまだ若い」と感じておられますから、電車に乗っても“シルバーシート”には座りません。つまり「シルバー」よりも若いということを深く意識しているのではないのでしょうか。

これと呼応するかのよう、シニアマーケティングの業界では「**実年齢の7掛け**」をシニア以上の年齢感覚と捉えています。**60歳の方は60×0.7=42歳！70歳の方は70×0.7=49歳！**といった感覚です。だからファッションの世界でもシニア層に対しては40代向けの若いファッションを提案することが売のコツともなっているのです。

しかし、75歳を過ぎ後期高齢者と言われるようになると、気力、体力、判断力、決断力などにめっきり自信がなくなる時が突然訪れます。もう少し先と思っけていてもガクンと落ちてしまうので、気が付いたら手遅れというケースがほとんどです。

■シニア世代から考えたい“みまもり家族サービス”

シニア世代の三大関心事は「**生きがい**（趣味主体）」「**健康**」「**お金**（老後の生活設計）」だと言われています。りぼんの会の三つのスローガンは（1）**生きがいの創造**（2）**生涯現役への挑戦**（3）**終生の安心**ですが、前出の三大関心事とほぼ同じです。

シニアはフルタイムで働き、がっちり稼ぎたいわけではありません。また、健康は重んじてても無為に長生きや延命を望むわけでもありません。シニアが望む生きがいにしても、「**社会とつながっている**」という自覚、**手ごたえ、証（あかし）**であって、**社会に役立つ活動をするためにも「健康」でありたいと願い、自分の価値ある行動への裏付けとして「お金」が欲しいのだと考えます。**

このような意味で“相続みまもり家族りぼんの会”の存在意義が浮き彫りになってきます。そのころは、会員の①**社会的居場所の確保と関わり合いの媒介**であり、②**それを支えるための契約家族**や③**専門家にしかできない事務の補足**なのです。



シニア世代から老後に備える

“**相続みまもり家族りぼんの会**”は、おひとり様をはじめ、一人でもなくともご高齢の夫婦や近くに頼れる人がいない方が対象です。

また、**年齢的にはシニア世代からしっかり考えて参加してほしい**のですが、もちろん後期高齢者になられていてもOKです。

ただし、判断能力が落ち、認知症などの症状が現れていると非常に難しくなります。この分かれ目は突然来ます。

「初回30分！ご相談無料」

- 無料出前講座受付中**
⇒資料作成や受付、セッティングも致します。
- 相続セミナー開催中**
⇒当社主催のテーマ別講座。YouTube 公開
- 個別相談随時受付中**
⇒個人でもご家族でも一緒に説明します。

■高齢者・障がい者の身元保証・生活支援・葬送支援 ■遺言・成年後見・死後事務委任・遺品整理・相続手続

おひとり様、ご高齢夫婦
頼る人が近くにいない方
安心しておまかせ下さい

一般社団法人 **りぼんの会**
介護予防

姫路市忍町102番地 ナカイビル 3F

 **0120-329-180**

支援機関 HP [nakai358](http://nakai358.com) 検索 

 ナカイ相続 遺言・相続・相続不動産売却
トータルサポートセンター

株式会社 **ナカイ総合事務所**
行政書士

 〒670-0926 姫路市東駅前町70番地
(079) 224-4855